



発行 刈谷市議会 ・〒448-8501 愛知県刈谷市東陽町1丁目1番地 ・電話〈0566〉62-1032 Fax〈0566〉25-1111 ・編集 議会広報委員会
刈谷市議会ホームページアドレス <http://www.city.kariya.lg.jp/shigikai/> または [刈谷市議会](#)

平成25年度予算を可決

「歴史に学び未来を紡ぐ安心充実予算」

全会計合計 748億円

刈谷市公共施設維持保全基金条例の

制定についてなど、45議案を可決



初代刈谷藩主の水野勝成をモチーフにしたマスコットキャラクター“かつなりくん”

刈谷城築城480年を記念し、 公共施設連絡バスをラッピング(3月18日～)

かつなりくんや刈谷城築城盛上げ隊が、様々なイベントで活躍します。

主な記事

主な記事	ページ
25年度予算	2～3
議決した議案	4～5
委員会の動き	5
質問質疑	6～8

3月定例会のあらまし

この定例会は2月14日に招集され、会期37日間で、3月22日に閉会しました。

今回は議案など47件が提出されました。

主な議案は、平成25年度当初の質疑を行いました。

◆1日 予算審査特別委員会
予算議案12件を関係する分科会で審査することにしました。

◆5日～11日 委員会、分科会
議案が審査され、委員会や分科会での採決が行われました。

◆21日 予算審査特別委員会
分科会での審査の経過と結果が報告され、予算議案の採決が行われました。

◆21日 議会運営委員会
最終日の運営を協議し、議案の採決方法などを確認しました。

◆22日 本会議(採決)
各委員長より、委員会での審査の経過と結果が報告されました。一部の議案について反対意見がありました。採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

◆2月27日～3月1日 本会議(質問・質疑)
18人の議員が39項目にわたり、一般質問と平成25年度当初予算

◆2月14日 本会議
(施政方針、議案説明など)
市長から平成25年度施政方針と提出した議案の大綱についての説明があり、続いて教育長から平成25年度教育行政方針が述べられました。また、刈谷市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について、可決しました。

その後、平成24年度補正予算議案4件、平成25年度当初予算議案8件をはじめとする各議案の説明を受け、関係する委員会で審査することとしました。

◆2月27日～3月1日 本会議(質問・質疑)
18人の議員が39項目にわたり、一般質問と平成25年度当初予算

◆2月14日 本会議
(施政方針、議案説明など)
市長から平成25年度施政方針と提出した議案の大綱についての説明があり、続いて教育長から平成25年度教育行政方針が述べられました。また、刈谷市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について、可決しました。

その後、平成24年度補正予算議案4件、平成25年度当初予算議案8件をはじめとする各議案の説明を受け、関係する委員会で審査することとしました。

◆2月27日～3月1日 本会議(質問・質疑)
18人の議員が39項目にわたり、一般質問と平成25年度当初予算

◆2月14日 本会議
(施政方針、議案説明など)
市長から平成25年度施政方針と提出した議案の大綱についての説明があり、続いて教育長から平成25年度教育行政方針が述べられました。また、刈谷市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について、可決しました。

その後、平成24年度補正予算議案4件、平成25年度当初予算議案8件をはじめとする各議案の説明を受け、関係する委員会で審査することとしました。

◆2月27日～3月1日 本会議(質問・質疑)
18人の議員が39項目にわたり、一般質問と平成25年度当初予算

◆2月14日 本会議
(施政方針、議案説明など)
市長から平成25年度施政方針と提出した議案の大綱についての説明があり、続いて教育長から平成25年度教育行政方針が述べられました。また、刈谷市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について、可決しました。

その後、平成24年度補正予算議案4件、平成25年度当初予算議案8件をはじめとする各議案の説明を受け、関係する委員会で審査することとしました。

◆2月27日～3月1日 本会議(質問・質疑)
18人の議員が39項目にわたり、一般質問と平成25年度当初予算

★傍聴をお待ちしています★

* 6月定例会の開催予定 *

- 5月30日(木) 議会運営委員会(運営を協議)
- 6月12日(水) 本会議(開会、一般質問など)
- 13日(木) 本会議(一般質問)
- 14日(金) 本会議(一般質問、議案説明)
- 18日(火) 企画総務委員会
- 19日(水) 福祉経済委員会
- 20日(木) 建設水道委員会
- 21日(金) 文教委員会
- 24日(月) 議会基本条例検討特別委員会
- 27日(木) 議会運営委員会(運営を協議)
- 28日(金) 本会議(採決など)

各会議は10時から開会します。当日各受付までお越しください。
本会議：市役所10階、傍聴受付
委員会：市役所9階、議会事務局受付

○託児を希望される方へ

傍聴の際、臨時保育室「カンガールーム」をご利用になれます。傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。

○手話通訳を希望される方へ

傍聴の際、手話通訳者派遣制度をご利用になれます。傍聴希望日の1週間前までに障害福祉課(TEL 62-1208・FAX 24-2466)までご相談ください。

一般質問KATCH放映(106チャンネル)

6月17日、20日、24日いずれも18時から。
詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。

歴史に学び未来を紡ぐ安心充実予算 総額748億1千万円を可決 — 予算審査特別委員会のあらまし —

分科会・委員会での審査

質問・質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査されました。

21日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・下水道事業の各特別会計に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

22日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論が行われました。

討論では、保育園の指定管理者が株式会社であること、高齢者宅への配食サービスが遅れをとっていること、第二学校給食センターでの調理業務を委託していること、公共施設の使用料を値上げすること、亀城公園等整備基金に反対であることなどにより反対であるとの意見が出されましたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

平成25年度予算は、本会議での質問・質疑に続き、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、各分科会で審査されました。

一部の予算に反対意見がありましたが、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

本会議での質疑

質問・質疑では、市長にその方針を聞いたいただきました。

本会議での質問
質疑については、6～8ページの「質問質疑」をご参照ください。

【分科会での主な質疑】

■企画総務

防犯灯LED化事業について
防災備蓄倉庫整備事業について
地域活動活性化事業について
市債について

■福祉経済

認可外保育所補助金について
（仮称）夢と学びの科学体験館整備事業について
技能五輪全国大会プレイベント開催事業について
観光案内施設整備事業について
高齢者予防接種事業について
大名行列開催補助事業について
わくわく広場運営委託事業について
がん検診・高齢者予防接種について
障害者の就労支援について
福祉タクシー助成事業について
在宅寝たきり認知症高齢者見舞金支給事業について
妊婦検診について

■建設水道

再生可能エネルギー推進事業について
震災対策整備事業について
フローラルガーデンよさみの評価について
地方バス路線維持補助事業について
公共施設連絡バス運行管理事業について
市道01-4号線の整備状況について

■文教

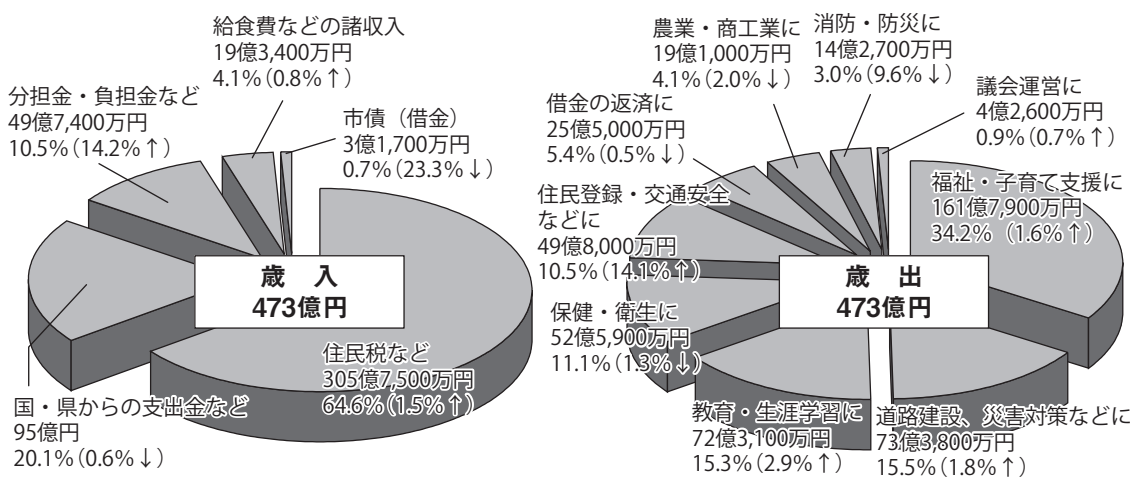
子ども相談事業について
学校施設の維持管理について
グラウンド等施設整備事業について
コンピュータ教育事業について
刈谷城築城480年記念関連事業について
ウェーブスタジアム刈谷陸上競技場第3種公認更新事業について

25年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	748億1,000万円	11億4,100万円	1.5%
一般会計	473億円	9億3,000万円	2.0%
特別会計	239億3,200万円	2億1,200万円	0.9%
小垣江駅東部土地区画整理事業会計	2億7,100万円	▲ 3,400万円	▲11.1%
野田北部土地区画整理事業会計	2億 900万円	8,300万円	65.4%
下水道事業会計	44億7,000万円	▲ 4億3,200万円	▲ 8.8%
国民健康保険会計	115億6,500万円	2億7,600万円	2.4%
後期高齢者医療会計	12億7,300万円	5,600万円	4.6%
介護保険会計	61億4,500万円	2億6,300万円	4.5%
企業会計	35億7,800万円	▲ 100万円	▲ 0.1%
水道事業会計	35億7,800万円	▲ 100万円	▲ 0.1%

※百万円単位で四捨五入しています。

一般会計の内訳 ()内は対前年度比



〈国・県からの支出金などの内訳〉 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車税取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金

〈分担金、負担金などの内訳〉 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

〈農業・商工業などの内訳〉 農林水産業費、労働費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

(注) 金額は百万円単位、割合は小数点以下第一位で四捨五入しているため、総額や割合と一致していない場合があります。

特別会計と企業会計のあらまし

本市には一般会計のほか、特別会計が6会計と企業会計が1会計あります。予算総額のうち、特別会計は239億3,200万円で、32.0%、企業会計は35億7,800万円で4.8%を占めています。

特別会計は、自治体が特定の事業を行う場合などに、一般会計から分離して経理を行うものです。

企業会計とは、株式会社等の民間企業と同様の会計方式により、経理を行います。

特に、水道事業の運営は、「地方公営企業」の一つであり、公営という面と企業という面を持っているため、一般会計、特別会計とは別に、収支を計上します。

特別会計

土地区画整理事業……公共施設の整備改善と土地の利用増進を図り、健全な市街地の造成を目的としています。

〈小垣江駅東部地区〉 施行面積 81.7%

主な事業：建物等調査委託、整地工事(1,349平方[㎡])、物件移転(1件)ほか

〈野田北部地区〉 施行面積 4.4%

主な事業：画地確定測量委託、整地工事(2,117平方[㎡])、物件移転(1件)ほか

下水道事業……家庭等の生活排水を適切に排除し、快適な生活環境を確保するとともに、川や海の水質を保全し、自然環境を守ります。また、雨水を速やかに排除し、浸水被害から住民の安全を確保します。

国民健康保険……相互扶助の精神にのっとり、保険加入者の医療費の負担や、出産、葬祭に関わる費用を支給します。

後期高齢者医療……老後における健康の保持と医療の確保を図り、世代間の負担を明確化することで、高齢者の福祉を増進します。

介護保険……介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で、できるだけ自立した生活を送ることができるよう、保健医療サービス及び福祉サービスの保険給付等を行います。要介護・要支援認定者が介護保険対象サービスを利用した際に費用の9割分を保険から給付します。また、要介護・要支援状態になるおそれの高い方に予防事業を実施します。

企業会計

水道事業……安全で良質な水道水を常時安心して使用できるよう万全の体制を整えます。

給水戸数61,900戸、年間総給水量18,102,000立方[㍎]、1日の平均給水量49,600立方[㍎]

平成25年度施政方針に見る主な事業 竹中良則 市長

市民の皆様が“元気で幸せ”を実感できるまちづくりの実現に向けて、最小の経費で最大の効果をあげることを念頭に、効率的で効果的な行財政運営を進めます。

(平成25年度主要事業の中から新規事業を中心に掲載。全ての主要事業は市のHPから参照できます。)



施政方針演説を行う市長



刈谷城築城 480年

刈谷城築城480年と天誅組義挙150年を迎えることから「歴史のまち刈谷」として様々な事業を実施します。

- ・刈谷城築城480年記念展やチビッコ甲冑行列、天誅組シンポジウムなど、記念事業を展開するとともに、家紋入り甲冑、のぼりなど啓発物品を作製 **3,800万円**

教育文化分野

確かな学力の定着と豊かな人間性の育成をめざした学校づくりや、学習する意欲と能力を養い、生涯にわたって学習できる都市づくりを推進します。



- ・中央児童館を科学体験館としてリニューアルするとともにプラネタリウムを更新(25年~26年度) **6億900万円**
- ・児童の放課後の安心安全な居場所として、既存の6校に加え富士松東小に放課後子ども教室を開設 **1,599万円**
- ・ウェブスタジアム刈谷の「陸上競技場第3種公認」を更新するため、施設や備品を整備 **5,998万円**



都市環境分野

生活の質の維持・向上を目指し、都市と自然が共存した魅力ある住みよいまちづくりを推進します。

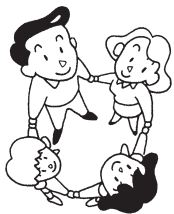
- ・刈谷駅南口の歩道を整備し、車両、自転車及び歩行者を分離した安全な駅前空間を確保 **2,000万円**
- ・名鉄富士松駅利用者の安全性及び利便性向上のため、線路西側に改札口を新設 **2億9,251万円**
- ・JR逢妻駅利用者の安全性及び利便性向上のため、エレベータ設置にかかる詳細設計を実施 **833万円**

産業振興分野

農業、商業、工業とバランスの取れた産業振興を図り、誰もが笑顔で働けるように、賑わいのある明るいまちづくりを推進します。



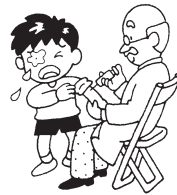
- ・中小企業の新製品、新技術開発を支援し、「ものづくりのまち刈谷」の発展を促進 **871万円**
- ・平成26年度に愛知県で開催される、第52回技能五輪全国大会のイベントを開催 **906万円**
- ・市の玄関口である刈谷駅周辺に、レンタサイクルの貸出しや銘菓の販売等を行う観光案内所を設置 **2,019万円**



計画推進分野

市民と行政の信頼関係を深め、豊かで魅力あるまちの実現に向けて協働できるまちづくりを推進します。

- ・地域コミュニティの絆づくりを目指し、地域活性化のための制度を検討したり、モデル地区を選定し課題解決を支援するコーディネーターを派遣 **38万円**
- ・平成26年度からの一般旅券(パスポート)発行開始へ向け、執務室の改修や備品を購入 **654万円**



福祉安全分野

より良い保健・福祉サービスを提供するとともに、災害や犯罪などへの安全性を高め、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

- ・社会福祉法人が行う、平成26年度開所予定の特別養護老人ホームの施設整備に対して補助を実施 **1,650万円**
- ・高齢者に対し、インフルエンザの予防接種に加えて肺炎球菌予防接種費用の助成を実施 **7,603万円**
- ・築40年が経過する富士松南保育園を、現園舎の北側に建て替えるための設計を実施 **2,000万円**
- ・公共施設に全国瞬時警報システムを接続するとともに、地震等の災害発生時に、地元コミュニティFMから緊急情報を受信できる防災ラジオを購入し販売 **900万円**
- ・地域での犯罪発生の抑止のため、駅前広場及び市街地に防犯カメラを設置 **690万円**
- ・通学路に指定されている道路のうち、歩車道が分離されず危険な区間にグリーン舗装を施工 **1,700万円**

教育行政方針(要旨) 太田武司 教育長

学校教育に期待されている、子どもたちの「生きる力」を育むとともに、生涯学習の推進をはじめ、芸術文化、スポーツの普及、振興など各種事業の開催や市民活動への支援を図ります。

学校教育の充実

- ・子どもの健全な育成を図るため、親や子ども等の総合的な相談窓口として子ども相談センターを開設 **2,272万円**
- ・通常学級に在籍する、発達障害のある子どもたちの学習をサポートするための支援指導補助員を増員 **2,324万円**
- ・老朽化した東刈谷小学校と刈谷南中学校の校舎を改造し、教育環境を改善 **4億4,660万円**
- ・アレルギー給食など、きめ細かな対応により安全で栄養豊かな給食を提供 **6億9,156万円**

生きがいをもつ生涯学習都市づくり

- ・開館30周年を迎える美術館の記念企画展として、収蔵作品を紹介するコレクション展や中原淳一展、井上洋介展を開催 **5,561万円**
- ・刈谷偉人伝として、豊田佐吉・喜一郎親子を紹介し、顕彰するDVDを作成 **658万円**
- ・第4回森三郎童話賞として創作童話の全国募集や、市内小中学生から森三郎作品の読書感想文などを募集 **225万円**



生誕100周年記念 中原淳一展を開催
表紙原画(『ジュニアそれいゆ』第24号)
1958年©JUNICHI NAKAHARA/ひまわりや

主な議案 3月 定例会

今回は、刈谷市公共施設維持保全基金条例の制定についてやみなくる広場条例の一部改正についてなどです。質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を中心に、要約して掲載します。

条例議案

■刈谷市議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について
■特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

■刈谷市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について

刈谷市特別職報酬等審議会の答申等にかんがみ、報酬及び給料の月額を改正します。

	改正前	改正後
議長	567,000円	566,000円
副議長	527,000円	526,000円
議員	468,000円	467,000円
市長	1,012,000円	1,010,000円
副市長	829,000円	827,000円
教育長	712,000円	710,000円

■みなくる広場条例の一部改正について

みなくる広場の利用促進を図るため、使用の許可条件から「国、地方公共団体、自治会等が主催するもので、公共性また

は公益性があること」を削りま

す。
〔問〕利用の促進を図ることに
より、様々なイベントの開催
が予想されるが、利用ガイド
のようなものを作成するのか。

〔答〕使用可能な時間、使用料、
申請方法及び注意事項などを
記載した利用案内ガイドを作
成する予定である。

〔問〕申請を簡素化して欲しい
が、公共施設予約案内システ
ムでの予約は可能か。
〔答〕イベントの内容、利用可
能エリア、車両の乗り入れな
ど、直接確認が必要な事項が
多いため、窓口で申請してい
ただきたいと考えている。今
後は、総合文化センターでも
受付が可能となるよう、関係
部署と協議していく。



イベントでにぎわう、みなくる広場

■刈谷市下水道条例の一部改正
について

平成25年10月1日検針分より
下水道使用料を改正します。

下水道使用料の料金表（2か月あたり・税込）

区分	変更前	変更後	
基本使用料	0円	1,470円	
従量 使用 料	1㎡～20㎡	定額1,470円	10.5円/㎡
	21㎡～40㎡	73.5円/㎡	73.5円/㎡
	41㎡～80㎡	84円/㎡	105円/㎡
	81㎡～200㎡	94.5円/㎡	120.75円/㎡
	201㎡～1,000㎡	115.5円/㎡	141.75円/㎡
	1,001㎡～	152.25円/㎡	189円/㎡

※料金を目安：平均的な家庭（2か月で40㎡使用した場合）は3,150円となり、約7%の引き上げとなります。

〔改正の概要は右の表を参照〕
〔問〕なぜ改正するのか。

〔答〕平成元年度以来、下水道
への接続率向上を第一に考え、
消費税改正に伴う改定を除い
て使用料を据え置きとしてき
た。現在、普及率は約90%に
達し、今後は老朽管対策や耐
震化に多くの経費を必要とす
る維持管理の時代へと移って
いく。下水道事業を公営企業
という経営の視点で見えていく
時期に来ていると考え、独立
採算の原則のもと、下水道使
用者が今後も安心して下水道
を使用していただけるよう、
中長期的に自立・安定した経
営を続けるため、受益者負
担の原則に基づき適切な負担
をお願いするものである。

■刈谷市新型インフルエンザ等
対策本部条例の制定について

新型インフルエンザ等が発生
した際、迅速な対策を図るため
の体制を構築することを目的に
制定します。

〔問〕どういう基準で対策本部
を設置し、行動するのか。

〔答〕全国のかつ急速な蔓延に
より、国民の生活に甚大な影
響を及ぼす事態となった場合、
政府は新型インフルエンザ等
緊急事態宣言を行う。その際
には直ちに対策本部を設置し、
国・県と連携を図りながら情
報収集及び市民への情報提供
の連携をしていく。

■刈谷市十朋亭条例の一部改正
について

平成25年10月1日より十朋亭
の使用料を改正し、平均で約
20%引き上げます。

〔問〕利用者の負担割合を、ど
のような考えで決定したのか。

〔答〕住民負担の公平性の確保
と受益者負担の原則に基づき、
4年に一度全庁的に施設の使
用料を見直している。使用料
を見直す際、利用者の負担割
合を、民間事業と競合性のあ
る施設は75%、公共性・公益
性が高い施設は50%としてお
り、十朋亭は75%としている。
現在、維持管理費に占める使
用料収入の割合は約20%であ

議決結果一覧表

損害賠償の額を定める専決処分について	了承
刈谷市土地開発公社事業計画等について	了承
議員提出議案 1議案	可決
刈谷市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について	可決
〔企画総務委員会関係 7議案〕	すべて可決
刈谷市公共施設維持保全基金条例の制定について	すべて可決
刈谷市議員の公益的法人等への派遣に関する条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	すべて可決
特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市税条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市青山斎園条例の一部改正について	すべて可決
〔福祉経済委員会関係 4議案〕	すべて可決
障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	すべて可決
刈谷市介護サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	すべて可決
刈谷市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	すべて可決
刈谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正について	すべて可決
〔建設水道委員会関係 14議案〕	すべて可決
市道路線の認定について	すべて可決
刈谷市道路占用料条例の一部改正について	すべて可決
みなくる広場条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市道路路構造に関する技術的基準を定める条例の制定について	すべて可決
刈谷市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例の制定について	すべて可決
刈谷市準用河川管理施設等の構造に関する技術的基準を定める条例の制定について	すべて可決
刈谷市官住宅管理条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の制定について	すべて可決
土地の買入れについて（岩ヶ池公園整備事業用地（第3期拡張整備区域））	すべて可決
刈谷市都市公園条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	すべて可決
刈谷市水道事業施設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の制定について	すべて可決
刈谷市下水道条例の一部改正について	すべて可決
〔文教委員会関係 6議案〕	すべて可決
刈谷市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市十朋亭条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市生涯学習センター条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市公民館条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市民ホール条例の一部改正について	すべて可決
刈谷市体育施設条例の一部改正について	すべて可決
〔平成24年度補正予算関係 5議案〕	すべて可決
一般会計補正予算（第5号）	すべて可決
下水道事業特別会計補正予算（第2号）	すべて可決
国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	すべて可決
介護保険特別会計補正予算（第3号）	すべて可決
一般会計補正予算（第6号）	すべて可決
〔平成25年度当初予算関係 8議案〕	すべて可決
一般会計予算	すべて可決
刈谷小垣江駅東部土地地区画整理事業特別会計予算	すべて可決
刈谷野田北部土地地区画整理事業特別会計予算	すべて可決
下水道事業特別会計予算	すべて可決
国民健康保険特別会計予算	すべて可決
後期高齢者医療特別会計予算	すべて可決
介護保険特別会計予算	すべて可決
水道事業会計予算	すべて可決

り、今回の改定により割合を増加させ、負担の公平性を図りたいと考えたためである。

■刈谷市公共施設維持保全基金条例の制定について

今後増大する公共施設の維持保全費用の財源を確保し、公共施設の健全かつ円滑な維持保全を図るため、基金を設けます。

(基本方針1 公共施設の質の確保)安全・快適で使用しやすい公共施設の整備、情報の一元化と評価、評価の反映

(基本方針2 コストの削減)公共施設の長寿命化、維持管理費用の削減

(基本方針3 各年度支出の平準化)維持保全の優先順位の設定、財政計画との連動

〔問〕費用の平準化をどのように図っていくのか。

〔答〕予防保全の考えにより、施設の長寿命化を図りながら、工事の優先度等を判断し、効率的・計画的に各年度間の経費を調整していく。

〔問〕公共施設の統廃合についてどのように考えているか。

〔答〕施設の利用状況や収支状況などを一元的に把握し、より効果的な施設の活用を検討

することで、市全体で効率的な施設運営が図られるように努めていく。

■刈谷市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の制定について

障害者や高齢者が移動しやすいよう、歩道の幅や道路の舗装などに関する基準を定めます。

単行議案

■土地の買入れについて

岩ヶ池公園の第3期拡張整備のため、駐車場用地として土地を購入します。

所在地 東境町光ヶ丘128番

2 ほか49筆

面積 18,504.82㎡

買入予定価格 743,981,852円

予算議案

補正予算議案は全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、企画総務、福祉経済、建設水道の各分科会で審査されました。

3月21日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果を各分科会委員長より報告を受けました。

呼びかけました。

議会トピックス

■交通安全オープニングキャンペーンで交通事故防止を呼びかけ

4月8日の早朝より、春の全国交通安全運動に合わせ、刈谷駅周辺でキャンペーンを実施しました。

朝の通勤、通学者に対して、「飲酒運転やめてクリームパン」と銘打ったデニッシュクリームを配布し飲酒運転の根絶を



やめてクリームパンを通勤者に配布

補正する額(一般会計)

3億3,068万円

補正後の予算(一般会計)

488億7,750万円

補正後の予算総額(全会計)

767億1,897万円

(公園)

大手町に、市中心部の緑の創出を図るとともに、災害時の様々な復旧支援活動が行える広場を整備します。

5,702万円



セントラルパークのイメージ

(財政)

公共施設維持保全基金に積立をします。

2億円

(教育)

平成25年度に実施予定だった東刈谷小学校の大規模改修を、国の「地域の元気臨時交付金」を財源の一部として、24年度予算に前倒しして実施します。

(本会議最終日に追加上程)

2億5,160万円

※市民の方等から貴重なご寄附をいただきました。補正予算に計上し活用させていただきます。

・総務管理事業費として 134万5千円

・児童福祉事業費として 4万6千円

・保育園事業費として 12万円

委員会の動き

各委員会では議案の審査のほか、次のことが話し合われました。

企画総務委員会

◆所管事務調査

市民意識調査等について

「第7次刈谷市総合計画」の進行管理を目的に、市民や小学生を対象にアンケート調査を実施したとの報告がありました。

刈谷市地震ハザードマップについて

南海トラフの巨大地震に備えるため、ハザードマップを作成しました。全戸配布するとともに、市のホームページにも掲載

そのほか「刈谷市メール配信サービスについて」などが話し合われました。

点から平成34年度を展望したビジョン・目標を示します。

(主要課題)

①安全で安心して暮らせる住まい

②若年ファミリー層の定住に向けた住まい

③多様なライフスタイルに対応した快適な住まい

④協働による住まい

亀城公園歴史的建造物等基本計画について

開設から約70年が経過し、老朽化による公園機能の低下が著しい亀城公園について、平成20年度策定の再整備基本設計に基づき、今年で築城から480年を迎える刈谷城の復元整備を目指します。

(基本理念)亀城公園における刈谷城の歴史的価値の再生

(事業計画)資料・発掘調査を先行実施し、櫓や石垣の状況を可能な限り明確にしたのちに整備することを原則とします。具体的には、事業を平成32年度までの短期計画事業と、それ以降の中長期事業にわけ、南東隅櫓や石垣の整備などを行います。

文教委員会

◆所管事務調査

刈谷城築城480年記念事業について

刈谷の発展の礎となった刈谷城を、水野忠政が築いてから480年である今年、維新の魁といわれる天誅組が義挙してから150年でもあります。「戦国ロマンに想いをはせ 未来へ夢を紡ぐ」をテーマに記念イベントの開催など、様々な取り組みにより、市民のみなさんに郷土の歴史文化への愛着や誇りを持っていただき、歴史、文化のまちづくりを市民と一体となり推進してまいります。

そのほか「ソニー子ども科学教育プログラムについて」「於大の方の石碑について」「美術館の運営について」「部活動の顧問について」「PM2.5への教育委員会の対応について」などが話し合われました。

福祉経済委員会

◆所管事務調査

「農作業の安全対策について」「児童クラブの利用負担金について」などが話し合われました。

建設水道委員会

◆所管事務調査

第2次刈谷市住宅マスタープランについて

本格的な少子高齢化の到来、低炭素・循環型社会への移行、大規模地震による被害想定の見直しなど、住宅を取り巻く環境が大きく変化したことに伴い、住宅マスタープランを見直し、誰もが安心して暮らせる仕組みづくりなどに取り組みます。

(計画期間)

平成25年度から29年度までを計画期間とし、中長期的な視

刈谷城復元のイメージ (平成32年度までに復元予定)



そのほか「刈谷駅の点字ブロックについて」「小道公園周

議会基本条例検討特別委員会

「市民の議会への参画(住民意見の取り入れ)」「請願・陳情」「議員間討議」「市長と議会との関係」「反問権の付与」などが話し合われました。

平成23年12月に委員会が設置されてから、開催回数も19回を数え、「条文全体の整理」を行っています。今後は、市民のみなさんからの意見募集を含め、条例の制定へむけて準備を進めていきます。

質問・質疑

市政のこころを問う

この定例会では2月27日・28日・3月1日の3日間に、18人が登壇し、39項目にわたり質問・質疑が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

質問質疑(発言順)

※印が掲載した項目です。

- 白土 美恵子 議員
 - ※1 介護について
 - ※2 病児・病後児保育について
 - ※3 生活保護受給世帯の子どもへの教育支援について
- 上田 昌哉 議員
 - ※1 行政財産の活用について
 - ※2 刈谷市民の心の安定について
 - ※3 予算書、決算書の公開について
- 鈴木 浩二 議員
 - ※1 都市計画マスタープランについて
 - ※2 予算編成のプロセスについて
- 山本 シモ子 議員
 - ※1 市長の施政方針の問題点について
 - ※2 教育長の教育行政方針の問題点について
 - ※3 来年度予算について
- 黒川 智明 議員
 - ※1 行政経営改革について
- 佐野 泰基 議員
 - ※1 平成25年度市政運営について
 - ※2 教育行政方針について
- 野村 武文 議員
 - ※1 福祉・医療の充実について
 - ※2 災害に強いまちづくりの強化について
- 櫻谷 勝 議員
 - ※1 国の地域元気臨時交付金への対応について
 - ※2 生徒の安全確保について
- 松永 寿 議員
 - ※1 学校等の老朽化対策について
 - ※2 放課後の子どもの見守り施策について
 - ※3 高齢者に対する予防接種事業について
- 鈴木 綱男 議員
 - ※1 刈谷城築城480年記念事業について
- 佐原 充恭 議員
 - ※1 介護支援と健康長寿の取り組みについて
 - ※2 中小企業支援策について
- 清水 行男 議員
 - ※1 まちづくりと土地利用計画について
 - ※2 下水道の整備と会計制度について
- 星野 雅春 議員
 - ※1 平成25年度予算について
- 山崎 高晴 議員
 - ※1 災害時における防災体制について
- 伊藤 幸弘 議員
 - ※1 刈谷市の今後の人口動態に対する課題について
 - ※2 刈谷城築城480年記念事業と今後の関連事業について
- 新村 健治 議員
 - ※1 住宅リフォーム補助の新設について
 - ※2 市内巡回バス(公共施設連絡バス)の充実について
 - ※3 富士松南保育園の建設について
 - ※4 名鉄富士松駅の改善について
- 新海 真規 議員
 - ※1 施政方針について
 - ※2 教育行政方針について
- 蜂須賀 信明 議員
 - ※1 いじめ防止対策法案(仮称)について
 - ※2 高齢者の雇用対策について
 - ※3 エコまち法の対応について

質問質疑のすべての質問・答弁が映像でホームページからご覧になれます。
刈谷市議会ホームページ：<http://www.city.kariya.lg.jp/shigikai/>
「会議録検索システム・議会映像」のページからご覧ください。

白土 美恵子 議員(一問一答方式) 病児・病後児保育の今後の拡充について —新築予定の保育園の意向も踏まえて前向きに検討—

問 本市の病児・病後児保育の概要について聞きたい。

答 生後6ヶ月から小学校3年生までの児童が病気や病気の回復期に集団保育が困難となった場合、一時的に預かることで保護者の支援と児童の健全育成を図るものである。

問 予算を減額する理由は。

答 事業を実施していた市内の小児クリニックが、来年度の事業実施をしないためである。

問 施設が減ることにより、利用者にとって不足はないのか。

答 新築予定の保育園が事業実施の意向を持っており、前向きに審査し、拡充を考えていく。

上田 昌哉 議員(一問一答方式) 岩ヶ池公園の施設使用料の有効利用を —施設使用料を公園の維持管理費に活用—

問 市民の資産で、都市公園である岩ヶ池公園において、商業施設を備えたハイウェイオアシス株式会社が生み出すことにより、市に施設使用料を支払う手法は、画期的であると思うが、その使用料は1月あたり、坪単価で277円と非常に安価である。今後、使用料を

値上げする考えはあるのか。

答 使用料については、施設の立地状況や近隣市の使用料などを考慮の上、現在、検討している。

問 岩ヶ池公園の有料遊具を100円から五十円にすれば、入場者数が増え、商業施設との相乗効果も見込まれ、利益もあがることで施設の使用料を上げて、岩ヶ池公園の維持管理費に充当していく考えはあるのか。

答 指定管理者への委託料は有料遊具の利用料金を差し引いて計算している。また、施設設置使用料については、市の一般財源への収入となってくることから、現在、維持管理費などに活用していると考えている。



オアシス館刈谷がリニューアルされた刈谷ハイウェイオアシス

鈴木 浩二 議員(一問一答方式) マスタープランの人口フレーム達成に向けた取組みは —住居系新市街地を整備していく—

問 現在、本市の人口は、第三次都市計画マスタープラン策定の人口フレームより大幅に

少ない。現状に合わせ、マスタープランの修正が必要か。また、人口増加のための取組みは。

答 マスタープランの役割は、長期的な視点で都市の将来像を明確にすることなので、短期的な人口変化での見直しはしない。

問 工業系用地開発による産業誘致、住居人口確保は、住居の問題に対し有効な土地利用である。依佐美地区市街地開発の早期実現に向けた取組みは。

答 関係権利者のご協力とともに関係機関との連携が必要である。周辺都市環境との整合に配慮し、事業規模や関係権利者の合意形成の状況により区分分割を検討することも必要である。

山本 シモ子 議員(一括質問一括答弁方式) 不育症治療への補助制度を設けるべきである —難解な疾患であるため国・県の同行を注視していく—

問 安心して子どもを産み、子育てできるための施策が行われ、不妊治療への助成も行われているが、母子支援の基本的な考え方はどのようなか。

答 少子化対策を含め女性が妊娠、出産、子育てをしやすい環境を作ることが、自治体が果たすべき役割だと考えている。

問 妊娠しても流産を繰り返す症状が「不育症」と診断されるようになった。治療すれば無事に出産を迎えることができるが、検査や治療に多額の費用がかかる。

黒川 智明 議員(一問一答方式)
時流に即応する行財政改革を
—多様化する市民ニーズに即応できるよう意識向上を図る—

問 効率的な行政経営の推進には、人材育成が必要である。社会環境変化に即応できる、柔軟な思考と創造力を育成する研修はどのようなものがあるか。

答 地方分権の推進及び権限委譲による新たな業務への対応能力や、住民ニーズに即応できる意識向上を研修で図っている。新人職員の基礎研修のフォローアップなども行っているが、具体的な成果は時間が掛かるため、有効的、効果的な研修効果の確認方法を調査研究していく。

問 少子高齢化を見据え、変化化する社会や市民ニーズに対し、職員が提案した創造的・コストを意識した事業はあるか。

答 災害時、避難所となる小学校の電源確保のため、太陽光発電設備を、当初市費で5年間で設置予定であった。職員提案により民間に屋根を貸し、設置から運営まで行ってもらう事業に短期で切換え、設置期間を1年に短縮し、初期投資5億円の削減や屋根貸し料金を年間110万円の成果が見込まれる。

佐野 泰基 議員(一括質問一括答弁方式)
暮らしやすいまちづくりに向けた新年度予算の特徴は
—無駄を省き、市民の安全・安心に重点を置く—

問 今後の財政状況をどのよう
に捉えているか。
答 社会福祉関係経費や各種
公共施設の老朽化に伴う維持補
修費等の増大が見込まれ、今後
も歳入の大きな増加を見込むこ
とは難しいことから、財政面に
おける状況は厳しいものがある。



(仮称) 夢と学びの科学体験館として
リニューアルされる中央児童館

野村 武文 議員(一問一答方式)
安全性を確保し、逢妻駅エレベーターの早期設置を
—27年度に改札内、28年度に駅外側の工事を予定—

問 逢妻駅は階段が多くて上
がれない方やベビーカーを持っ
方が大変苦労している。エレベ
ーター新設の進捗状況はどうか。
答 平成25年度の事業化に向
け、現在JR東海と協議を進め
ている。工期は4年間、供用開
始は工事の進捗に合わせて行う。
問 可能な限り早い設置を願
うが、早朝や夜は無人駅となる
ため、防犯上の問題を十分考慮
し、安全性をしっかりと確保する
ことが大事である。実際の事業
スケジュールはどうか。

櫻谷 勝 議員(一問一答方式)
国の地域元気臨時交付金の積極活用を
—計7事業で活用。今後は、追加工程で対応—

問 国の地域元気臨時交付金、
約1兆4千億円の概要はどのよ
うになっているか。
答 平成25年度予算と連動し、

景気を下支えする切れ
目のない経済対策とし
て、国の補正予算に計
上された公共事業を実
施した場合に、地方負
担額の7割から9割が
交付されるものである。
問 まさに地方に
とって元気の出る交付金を、
しっかりと活用するべきだと考
えるが、交付金の対象となる事
業はどのようなものがあるか。



交付金を活用し、道路の
総点検を実施

答 一般会計では、道路総点
検事業初め5事業で事業費総額
は約2億5千万円。下水道事業
特別会計では、北部第2処理分
区整備事業を初め2事業で約
松永 寿 議員(一問一答方式)
放課後の子ども見守り施策の充実を
—2つの児童クラブで定員の拡大を実施—

問 児童クラブは、クラブに
よって登録人数や出席率にバラ
ツキがあるが、施設と指導員の
状況はどうなっているのか。
答 施設については、順次、
定員拡大のための施設整備を進
めており、25年度は、富士松東、
衣浦児童クラブの2クラブで定
員拡大を予定している。また、
指導員については、随時募集し
ており、現在は配置基準以上の
指導員を確保している。

問 夏休みなどの長期休業の
場合、児童の預かり時間が長く
鈴木 絹男 議員(一問一答方式)
刈谷城築城480年記念事業の成功の鍵は
—全庁体制で意識の高揚、一体感の醸成を図る—

問 この事業が成功すれば、
本市は産業だけでなく歴史と伝
統文化のある都市と内外に認識
されるようになる。また、郷土
の歴史を再認識することにより
郷土愛が生まれ、市民の絆が今
まで以上に強くなる。そのため
には職員が過程段階から団結し

場、一体感の醸成を図っていく。
問 今こそ温故知新の精神で、
新しい刈谷市像である歴史、文
化、産業のまち刈谷をスタート
させるべきと思われる。この事
業にかける市長の思いはどうか。
答 事業を通して、郷土の歴
史を再認識し、先行き不透明な
現代の先を照らす道しるべを歴
史から学ぶことにより、未来に
向けて市民と行政が一体となっ



480周年記念のマスコットキャラク
ター「かつなりくん」

佐原 充恭 議員(一問一答方式)
介護支援と健康長寿の取組みに更なる充実を
—計画の基本理念に基づき各施策を推進—

問 市内の特別養護老人ホ
ムへ入所できずにいる待機者1
63人への対応をどうするのか。
答 計画の目標として特別養
護老人ホーム、介護付き有料老
人ホーム、グループホームで計
185人分、5施設を整備する。
問 継続雇用制度により定年
後のフルタイム労働者の増加が
見込まれるが、働きながら介護
する場合は留意点は何か。
答 訪問、通所、泊まりなど
様々な介護保険サービスがある
ため、家族ですることと介護事

清水 行男 議員(一問一答方式)
南部地域の土地利用計画は全庁的な検討を
—市街地整備に向けた各種調査を実施—

問 若者世代の転出を防ぎ、
目標人口確保のため、南部地域
での新市街地整備が急務と見え
るが、新たに編入する地域の見
直しはどのようになっているか。
答 若者に魅力を感じてもら
えるまちづくりが必要であるた
め、利便性の高い中心市街地に
都市型の住宅建設を誘導してい
きたい。また、長期的には依佐
美地区、小垣江北地区に住居系
新市街地を整備していく。
問 依佐美地域は市内でも優
良な農地であるが、今後の農業

星野 雅春 議員(一括質問一括答弁方式)
市職員の兼務をやめ、観光協会を自立させる考えは

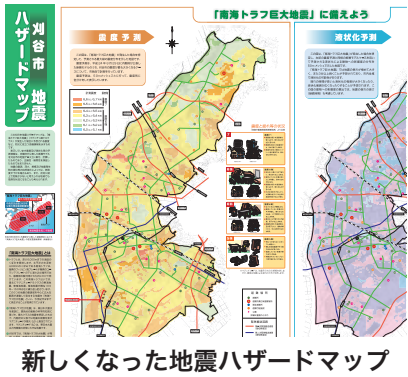
問 本市の観光協会が抱える課題は何か。また、どう克服するのか。
答 観光協会設立以来、万燈祭り、わんさか祭りなどのイベントを中心に活動してきたが、本市は工業都市、企業城下町のイメージが強く、観光振興を図ることは難しい課題である。近年、コスプレフェスタの開催など新たな文化の発信にも取り組み、一定の成果を上げている。今後も自然・歴史・文化資産を活用しながら定住自立圏の枠組

問 市役所商工課の職員が観光協会の事務を兼務しているが、観光協会本来の機能を果たすことが難しいと思うが、観光協会を自立させる考えはないか。
答 観光を推進するためには、民間活力の活用が重要である。第2次観光推進基本計画に基づき、市と観光協会の役割分担を明確にし、法人化も含めて組織の効率化を検討したい。

山崎 高晴 議員(一問一答方式)
市民の不安を和らげる防災対策を

東日本大震災の教訓を活かし、事業を推進

問 同報系防災行政無線の緊急情報に対し、市民の意識改革を図る取組みを検討しているか。
答 無線の内容を回覧等で周知するほか、屋外拡声器を使った避難訓練等を自主防災会と行うなど、意識づけを図っていく。
問 刈谷市の道路の耐震対策への取り組み状況はどうか。
答 緊急輸送道路にかかる橋梁の耐震化を平成16年度から進め、25年度末に完了予定である。現在は避難路にかかる橋梁の耐震化計画を策定する予定である。
問 応急仮設住宅に関する計画における建設の候補地や、建設戸数はどうなっているのか。
答 阪神淡路大震災の実績と、東海・東南海地震の被害想



伊藤 幸弘 議員(一問一答方式)
今後急速に増大する高齢者福祉関係予算への対応は

財源を確保するとともに、歳出の抑制に努める

問 12年後、2025年の高齢者人口及び高齢化率をどのよう予測しているか。
答 第7次総合計画において、2025年には、高齢者人口が3万3440人、高齢化率が

20・5%と予測している。
問 介護保険制度が現行のままとした場合、介護保険の一般会計からの繰出金は2025年にはどれくらいになると予想されるか。
答 直近5年間の平均の伸び率で試算すると、一般会計の負担は2025年には約15億円となり、平成25年度予算と比較すると約62%の増となる。

問 歳入の伸びが期待できない中、高齢者に係る福祉予算の増大に対し、どのような取り組みをしていくのか。
答 外部評価を取り入れ、市民目線に立った事業の実施に努めていく。さらに、公共施設維持保全計画に基づき、将来の人口や財政の見通し、施設の評価結果などから施設の有効利用等についても検討していく。

新村 健治 議員(一問一答方式)
富士松駅の改修に対し、どんな期待をしているか

利用者の利便性の向上と安全で快適な利用を期待

問 富士松駅の現状にどのような懸念があり、駅舎を改修することでのどのような期待をしているのか。
答 現在、名鉄富士松駅は線路東側にしか改札口がなく、西側からの利用者は踏切を通ることになるため、踏切付近での事故が懸念される。そのため、踏切の拡幅と併せて西側に改札口を新設することで利用者の利便性の向上とともに、より安全で快適な利用が期待される。

問 この事業は、名鉄にも負担しているか。
答 名鉄にも利用者の安全性の向上には責任があると思うが、負担割合の協議はされたのか。
答 協議は進めてきたが、乗降客数から、名鉄にバリアフリー化等の法的義務はなく、また市からの請願によるため、他の事例においても全額自治体が負担している。

新海 真規 議員(一問一答方式)
今後の教育行政にどのように取り組んでいくか

学校・家庭・地域が一体となり子どもを育成していく

問 成長過程の根本である家庭教育の充実が重要であると考えますが、保護者と学校の役割分担をどのように考えているか。
答 保護者の役割は、家庭で生活習慣と規範意識を身に付けさせることで、これらを多様な人との関わりや体験の中で育むことが、学校の役割と考える。

問 様々な障害のある児童生徒が学ぶ特別支援学級についてどのように取り組んで行くのか。
答 新年度は、特別支援学級を初めて担任する教員への研修

蜂須賀 信明 議員(一問一答方式)
いじめ防止対策の本市における取り組みは

子どもや保護者が相談しやすい環境をつくる

問 いじめへの対応は喫緊の課題であり、本市においても子どもたちの健全な成長のため、現状把握と、未然に防ぐ取り組みが重要である。現在、いじめ認知件数はどれだけあるか。
答 今年度は1月末までで小学校20件、中学校35件である。
問 いじめに対して学校はどのような対応をしているか。
答 教員間の情報共有に努め、対応策を協議して即座に対応している。最終的には、いじめられた側・いじめた側両者の保護者に把握した事実を伝え、理解を得る場を設けている。



様々な相談に対応する子ども相談センター

編集後記

かけはし

卒業式・入学式も終わり、風薫る爽やかな季節となりました。進学・就職など、希望に満ちた新たなステップでの活躍を、心よりお祈りいたします。
◆3月定例会は、3月22日にすべての審議が終了しました。平成25年度の予算が、現在の財政状況において『施政方針・教育行政方針』に沿って公正に立案されているか、議員1人1人が市民の声を代表して質疑をした後、新年度予算が成立しました。

◆新年度の目玉事業として、刈谷城築城から480年を迎える事から記念事業を実施し「郷土の歴史を再認識」「我が街の郷土愛を育む」「先人に習い人との絆を大切にする」の観点から、行政と市民が一体となったまちづくりを進めます。
この事業は、今後歴史博物館建設や刈谷城復元整備へと繋がりますが、目的の達成はもちろん、約50億円という費用に見合う付加価値を見出す必要があります。まずは記念事業の必要性を市民に理解いただき、市民の声を反映させるべく、しっかりとチェックし提言していきます。
◆2012年、県の広報コンクールにおいて、刈谷市HPがウェブサイトを1位、市民だよりが広報紙部門で2位となりました。市のHPのリニューアルに合わせ、市議会のHPも更新されています。これからも、わかりやすい議会を目指し、市議会だよりや市議会HP等により、積極的に情報をお伝えしますので是非一度HPにアクセスしてみてください。今後とも、市民の皆様方からの声をお寄せ頂きますようお願い申し上げます。
(議会広報委員会)